※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語②	単位数	2	年次	２～３
使用教科書	新編文学国語（大修館書店）						
副教材等	新編文学国語　学習ノート（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文学作品などの文学的文章を読んで、感性や情緒の側面の力を育成することをめざしています。
・講義形式・実習形式で授業を進めます。
　小テストやレポート作成・演習・発表等を行うこともあります。
・教科書・副教材・ノート・筆記用具の他に、Chromebook を使うこともあります。

2　学習の到達目標

言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。

（２）　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）　言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能について理解し、適切に使うことができる。	文学的な文章や作品を書いたり読んだりして、その内容や表現等を吟味したり評価したりすることで、自らの言葉に対する感性を磨く。また、他者との関わりの中で、必要な事柄を正確に伝え、相手の意向を的確に解釈できるようになることで、自分の思いや考えを広げたり、深めたりできる。	言葉がもつ価値について認識を深め、言葉によって自分の考えを形成したり、新しい考えを生み出したりすることができる。また、自己の向上のために読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として、文化としての言語芸術や芸能などの価値を理解し、尊重できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	心を見つめる ［教材］ 飛ぶことを知っている 魂	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えている。 c:文体の特徴や表現に注目しながら本文を読み味わい、筆者のメッセージを読み取ろうとしている。	記述の確認 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の点検及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート等）
	古典の世界 ［教材］ 若紫	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:作品に興味をもち、 自分と比較しながら作者の感性をとらえようとしている。	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート等）
	短歌・俳句に親しむ ［教材］ 短歌 俳句	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:短歌や俳句を読むことに興味をもち、その形式や表現に注意してそれぞれの作品を読み味わおうとしている。	記述の確認 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の点検及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート等）
	小説を楽しむ ［教材］ 離さない	a:擬音語や擬態語などの語感を磨き言語感覚を豊かにしている。 b:[読]「読むこと」において、作品の構成や展開、表現技法などの効果を捉えるとともに、小説に表現されている人物や題名についての考察を深めている。 c:作品に興味をもち、登場人物の視点や表現の特色に注目しながら内容を読み取ろうとしている。	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査
	文学を生み出す ［教材］ 私たちの黄色 タイムリミット 書斎	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:さまざまな小説を読むことに興味をもち、構成や表現の工夫を読み取ろうとしている。	記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （ノート・ワークシート等）
	文学を生み出す ［教材］物語を紡ぐ ①ショートショートを書こう ②名曲から物語を書こう	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b:[書]「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:作品を創作することに興味をもち、構成・展開や表現を工夫しながら書くことに取り組もうとしている。	記述の確認 （ノート・ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ノート・ワークシート等）	行動の観察 （ノート・ワークシート等） 作品

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　50　）時間